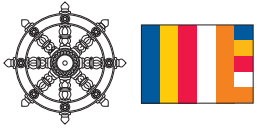


ZENBUTSU

# 全仏



No.  
566

仏暦2554年1月  
[2011年]



南アルプス 薬師岳からのご来光 — 撮影 仏像ガール®

目次	新年のご挨拶 河野太通会長・有田恵宗理事長	2
	理事会・評議員会・参与会	3
	加盟団体をゆく 第40回 真宗大谷派	4
	第25回WFB(世界仏教徒連盟)世界仏教徒会議 スリランカ大会及び記念ツアー報告	7
	第45回大阪府佛教徒大会	9
	東京都仏教連合会「成道会の集い」	9
	第25回WFB(世界仏教徒連盟)世界仏教徒会議 スリランカ大会及び記念ツアー写真集	20

# 新しい年を迎えて



会長  
河野 太通

平成二十三年の初頭にあたり、まず世界の平和と、皆さまの更なるご安泰とご多幸を祈念申し上げます。

昨年は、第四十一回全日本仏教徒会議栃木大会を「慈悲の心、社会参加仏教」のテーマのもとに、宇都宮市に於いて約二千人の参加を得て、盛會裡に開催することが出来ましたことを関係各位に感謝申し上げます。

そして、「社会参加仏教の課題と展望」について、参加会員各自学習いたし、お陰で問題意識を深め得ましたことを、有難く思っている次第であります。

今大会では仏の教えに関わる喫緊の社会問題の提示もあり、この問題の積極的対応は、まさに社会参加仏教運動の一好機と思えるの

ですが、しかし、残念ながら、具体的対応を立案するまでには至りませんでした。このことは、会長と致しまして慚愧に堪えぬところであります。

全日本仏教会は、新旧仏教教団が集合する日本の唯一の機関であり、この機関の社会に対する発信は、現代社会が抱える諸問題に対して、仏の教えの立場からして、如何に向き合ったらよいか、具体的示唆を提供するものでありたいと思えます。社会は、それを期待しています。

いささか燕辞を労しましたが、全日本仏教会を構成する会員尊位の、益々のご健在ご隆盛ならんことを祈念致し、新年のご挨拶いたします。

# 新年「ご挨拶」



理事長  
有田 恵宗

平成二十三年の年頭に当り、謹んで賀詞を申し上げます。

共々に新年を迎えますことに感謝申し上げますと共に、新たな一年を歩まんとする今日この日に、誓願をもって精進する大切さに再度想いを深く致すところであります。

世界平和と人類の安寧を願って迎えた二十一世紀であります。依然として紛争が絶えず、貧困と飢餓が絶えない現実があります。グローバルゼーションの認識が広まっておりませんが、その礎となるものは、私共、一人ひとりの意識であり、生かされている命への覚醒であります。

人類は、調和的、共生的に個々の存在を認め合い、相互理解に努めることが何よりも大切であります。

国内では、人と地域との絆が軽視され、無縁社会と呼ばれる社会状況は至って深刻であります。この時、釈尊のみ教えに還り、

万人のうちに存在する仏心を掘り起こしていくことが、現代社会から希求されているのではないのでしょうか。

人心の平安と慈悲の心を養っていく意識と行動が、今まで以上に必要であります。一人ひとりの心が、仏教界全体の高揚に大きな影響を及ぼし、世界中の人々に思いやりの心と和合の念が波及していくことを願って止みません。

今年、全日本仏教会では、公益財団法人へ移行する重要な過程にあります。加盟団体の皆様、関係諸団体の皆様のご理解とご支援なくしては、全日本仏教会は成り立ちません。

どうか、大慈大悲の心の一つにして現代社会に灯明を照らしていくことをお願い申し上げます。次世代の仏教者が感いもなく仏教の敷衍に渾身を傾けられますよう、加盟各団体の皆様、関係諸団体の皆様のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

## 第四回理事会 第二回評議員会・参与会

十二月一日にリーガロイヤルホテル京都にて開催された。

開会后、本会寄附行為に基づき、理事会議長は有田惠宗理事長が務め、評議員会議長には池田行信評議員（浄土真宗本願寺派）が選出された。

議事はまず理事会議案第一号「現行寄附行為上の評議員・参与の変更について承認を求め件」が審議され、以下の通り全会一致で承認された。

評議員

退任 佐々木孝一（曹洞宗）

就任 河村 松雄（曹洞宗）

参与

退任 足立 泰教（兵庫県仏教会）

就任 藤原 栄善（兵庫県仏教会）

続いて、評議員会・参与会の議案第一号である「現行寄附行為上の理事の変更について承認を求め件」が審議され、以下の通り全会一致で承認された。

退任 瀨 英徳（曹洞宗）

就任 佐々木孝一（曹洞宗）

次に理事会議案第二号「本財団の公益財団法人の申請について承認を求め件」に関する、①「公益財団法人移行後の最初の評議員

について承認を求め件」について審議された。奈良総務部長より最初の評議員選定に関する経緯を説明し、候補者十名を紹介した。

慎重審議の結果、候補者十名全員を、公益財団法人の認可・登記後の最初の評議員に選任することが全会一致で承認された。最初の評議員は以下の通りである。

佐々木孝一（曹洞宗）

橘 正信（浄土真宗本願寺派）

齋藤 明聖（真宗大谷派）

里見 法雄（浄土宗）

渡邊 照敏（日蓮宗）

四之宮弘孝（高野山真言宗）

松井 宗益（臨済宗妙心寺派）

杜多 道雄（天台宗）

上杉 照延（真言宗智山派）

川田 聖成（真言宗豊山派）

第二号議案②「本財団の公益財団法人の申請について承認を求め件」は一時保留し、協議事項・報告事項を先に行った。評議員会協議事項第一号・第二号は、理事会協議事項第一号・第二号と共通のため、進行を理事会議長が行うことについて提案し、理事会・評議員会の了解を得た。

まず協議事項第一号「平成二十

三年度事業計画大綱（案）について」を奈良総務部長が資料に基づき説明し、審議の結果全会一致で賛同の意が示された。

続いて、協議事項第二号「平成二十三年度予算大綱（案）について」を垣内財務部長が資料に基づき説明し、審議の結果全会一致で賛同の意が示された。

報告事項は理事会、評議員会共通事項のため、一括して報告した。総務部より、奈良総務部長が二〇一一年一月二十日に開催の新年懇親会の案内を行った。

財務部より、垣内財務部長が救援基金報告として、第二十五回世界仏教徒会議スリランカ大会におけるWFB人道支援基金への寄託と、第四十一回全日本仏教徒会議と、第四十一回全日本仏教徒会議と、第四十一回全日本仏教徒会議と、栃木大会における救援基金募金の報告を行い、併せて救援基金への継続的な協力要請を行った。

社会人権部より、加久保社会人権部長が二〇一一年二月九日開催の加盟団体顧問弁護士連絡会及び同二十日開催の人権問題連絡協議会についての説明を行った。

国際部より、入西国際部長が第二十五回WFB世界仏教徒会議スリランカ大会の参加報告を行った。広報文化部より、中村広報文化

部次長が第二十五回WFB世界仏教徒会議スリランカ大会記念ツアーの参加報告を行った。また、西野広報文化部次長が「花まつり」及び東映(株)映画「手塚治虫のブツダ」共同アピールポスター配布及び掲示について、東映(株)映画「手塚治虫のブツダ」への広報協力及び協賛についての説明を行った。

休憩後、一時保留していた理事会評議員会共通第二号議案「本財団の公益財団法人の申請について承認を求め件」に関する、②「公益財団法人移行に伴う提出申請書類の承認を求め件」が審議された。コンサルタント業務を行ってある朝日ビジネスソリューション(株)の木村匡成公認会計士より、資料に基づき主な申請書類の概要と特定資産に係る規程の二つの議案についての説明が行われた。審議の結果、主な申請書類の概要と特定資産に係る規程は全会一致で承認された。

補足として奈良総務部長が、提出申請書類中定款について、法律で記載が求められている公益財団法人の登記後、最初の理事長・理事・監事を平成二十三年一月二十日開催の次回評議員会において諮る予定であることの説明を行った。

# 加盟団体をゆく

## 《第四十回》真宗大谷派

(安原 晃 宗務総長)

### 真宗同朋会運動を核として

——今年の三月～五月にかけて、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を迎えます。

真宗大谷派では宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を、本年三月十九日から五月二十八日にお勤めいたします。

各月の十九日から二十八日を法要期間、三月・四月の二十九日から翌月十八日までを讃仰期間とし、全国の門徒や地域の方々と一緒に様々な活動を展開します。御参詣の方々に、御遠忌にお参りしてよかったと言っていただけのために、万全の体制を整えるべく、懇ろに準備しております。

——真宗大谷派として、御遠忌はどのような位置づけなのでしょう。



安原晃宗務総長

「真宗同朋会運動」という純粹なる信仰運動を展開してきました。

それは宗祖親鸞聖人が願われた教団・信仰のあり方と現実の状況が乖離している

「真宗同朋会運動」という純粹なる信仰運動を展開してきました。

それは宗祖親鸞聖人が願われた教団・信仰のあり方と現実の状況が乖離している

真宗大谷派は、京都市下京区にある東本願寺(真宗本廟)を本山とし、全国の門徒や地域の方々と共に様々な活動を展開されています。今年3月～5月にかけて厳修される、宗祖親鸞聖人750回御遠忌に向けて、どのような思いを抱いているのか、安原晃宗務総長に胸の内をお聞かせいただきました。

私が念仏者になるといふことが願われていることを確認し、今日まで継続しております。

来年厳修させていただく七百五十回御遠忌はこの「真宗同朋会運動」を核として、一人一人が教えを聞き、次なる一步を力強く踏み出し、世の中の人々と人間としての社会を築いていく、そのような歩みについて問われていると思います。

私の言い方では、今回の御遠忌を「真宗同朋会運動を表現する御遠忌」と申しております。御遠忌は単なる法要ではなく、「真宗同朋会運動」を推進することによって成り立つと考えております。

——御遠忌までにどのようなことが行われてきましたか。

五十年に一回の法要が巡ってきた事実を通して、宗祖親鸞聖人によって、宗門が問われているという受け止め方をしております。何を問われているかといえば、宗祖親鸞聖人の教えに背いてしか

と、思い知らされたからです。時代の波に流されて、宗門・門徒が迷いながら歩んできたことが、今日の危機的状況を生んでいるのではないかと押さえたときに、宗祖親鸞聖人の申された本願念仏の教え、

まず挙げられるのが、御影堂の御修復です。宗祖親鸞聖人の御影が安置されている御堂ですが、約五年の歳月をかけ、屋根瓦や内装その他を御修復致しました。京都大学の防災研究所と共同で耐震工

事も施し、次世代につながる建築物になっております。また、御修復に際し環境規格「KES（ステップ1）」を寺社としては初めて取得致しました。古い屋根瓦一枚も無駄にすることのないよう、境内前道路舗装に使用し、新しい屋根瓦にも混入しております。環境に配慮し、先人の思いを現代に繋げるといふ観点からも、非常に大事なことではないかと思えます。

その他には、境内前法語看板にはソーラパネルを付け、電力を独自にまかなっております。今後も一層環境教育や電力使用削減に積極的に取り組んでいきます。

——御遠忌期間中はどのようなことが行われますか。

全国にある三十教区の、様々な催しを開催します。境内においては、法要はもちろんのこと、各教区のブースを設け、教区独自の課題やテーマを定め、参詣者と交流を致します。交流の一環として、宗祖親鸞聖人の教えに一人でもお

会いしていただければと、参詣者の宿泊先に向き、希望があれば法話を致します。

また、真宗教団連合・京都市美術館・朝日新聞社の共催で「親鸞展」を開催し、多くの方々に宗祖親鸞聖人を感じていただければと思います。

様々な事を含め「真宗同朋会運動を表現する御遠忌」にしたいと思います。

## 出発は常に謙虚である

——現代社会に対してどのような考えをお持ちですか。

予想もできないことが起きてくる現代で、非常に危機感を持っております。危機感を自らに問いかけて、現実の課題として担ってきたいのが仏道でありますから、他人事では済まされない問題であります。

最近、謙虚という言葉があまり言われなくなりました。逆に言え

ば、人間が傲慢になったということです。謙虚とは恭敬心、つつしみ、うやまうことです。仏道の始まりは恭敬心で、それがなければ、いかに教学的な言葉を聞いても、成就しがたいと思います。出発は常に謙虚であり、恭敬心です。

謙虚であれば、他に対する配慮が生まれてきます。自分がここに「ある」ということの意味が、周りから知らされてきます。自分が生きているという思いから、生かされているという思いに変わります。恭敬とは、帰依三宝の基本的な姿勢です。しかし、一切恭敬とい

うことが欠落していると思えます。欠落していると問い返そうともしなければ、確かめ合うという動きも少ないです。理知的な概念や理性に押し込めてわかったことになっているのでしよう。お互いが謙虚になることによって、初めて礼拝があり、南無があります。

申すまでもなく、仏陀とは自覚者です。現代人は自覚という言葉をややというほど知っています、身の程が思い知らされなければ、本当の意味での自覚はおきてこないのではないかと思います。これが現実の課題ではないでしょうか。

### 2011年宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌日程

第1期法要	3月19日～3月28日
御遠忌讃仰	3月29日～4月18日
第2期法要	4月19日～4月28日
御遠忌讃仰	4月29日～5月18日
第3期法要	5月19日～5月28日
御正当報恩講	11月21日～11月28日

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌テーマ  
今、いのちがあなたを生きている



## 第二十五回WFB(世界仏教徒連盟)世界仏教徒会議 スリランカ大会報告

二〇一〇年十一月十三日から十

七日にかけてスリランカ・コロン

ボ市内にあるシナモングランドホ

テルにおいて、第二十五回WFB

世界仏教徒会議スリランカ大会が

開催された。本会より正本乗光国

際交流審議会委員(WFB人道支

援委員会 委員長)、戸松義晴事務

総長(WFB執行役員)、入西智

彦国際部長、藤田宗玄国際部次長

が参加した。

スリランカ(セイロン)はWFB

B創立の地であり、第一回大会を

はじめ過去に三回の世界大会を開

催してきた。今大会はWFB創立

六十周年という記念すべき大会で

あり、スリランカのAll Ceylon

Buddhist Congress (ACBC)が主

催となつて大会が運営された。

大会テーマは「仏陀の教えによ

る社会的和解」である。なお、パ

ン・ワナメッティ会長は諸事情に

より参加できず、アナンドW.P.

グルゲ副会長(アメリカ)が会長

代理を務めた。

十一月十三日

・第七十七回WFB執行役員会議

(合同役員会議)

副会長・常設委員会委員長を交

えた合同役員会議として開催。パ

ロップ・タイアリー事務総長によ

る事業・会計報告の後、人道支援

委員会委員でもあるカメラリア・ダ

ルマワン執行役員(インドネシア)

から、自身が所属する救援組織「カ

ルナ・ミッタ」のスマトラ沖地震

の詳細な救援活動報告がなされた。

また、全日本仏教会から一千万円

がWFB人道支援基金に寄託され

た旨の報告があった。(二〇一〇年

二月、十一月にそれぞれ五百万ずつ)。

さらに加盟センターの年会費の

滞納状況の報告や、総会へ勧告す

る新規加盟センター候補の承認な

どが行われた。最後に次回の大会

開催に関して、韓国が立候補し承

認された。主催は曹溪宗で、韓国の

他の地域センターとも協力しながら大会準備が進められる。開催時期は二〇一二年五月と発表された。

十一月十四日

・総会

総会では執行役員の選挙が予定

されていたが、立候補の人数が規

定の八名以内であったため無投票

となった。Goh Seng Chai氏(マレー

シア)、D.M. Jayatileke Dissanayake

氏(スリランカ)が辞任、新たに

張琳氏(中国)、Jagath Sumathipala

氏(スリランカ)の二名が執行

役員となった。本会からは戸松義

晴事務総長が再選された。他に新

規加盟センターの承認などが行わ

れた。

・開会式

各国の代表・オブザーバーなど

四百名が参加した。ゲストとして

D.M. ジャヤラトナ首相が祝辞を

述べた。

・第一回全体会議

バンングラデシユ、オーストラリ

ア、ネパール等各国首脳からの祝辞がそれぞれのセンター代表から披露された。

十一月十五日

・常設委員会会議

正本乗光師が委員長を務める人

道支援委員会が九つの常設委員会

の一つとして開催された。本委員

会にはパロップ事務総長も出席す

るなど、WFBの活動の中でも重

要な役割を担っている。

委員会ではこれまでの人道支援

の実績が報告されるとともに、今

後の活動計画が討議され、自然災

害への速やかな対応をすること、

貧困・難民・紛争といった問題に

対する中長期的な支援活動につい

ては次回大会で検討すること、二

〇一二年二月にブツダガヤの日本

寺を中心に人道支援活動を視察す

べくスタディーツアーを派遣する

ことが決定した。また、人道支援

申請書の様式についても改善点が

指摘された。

全日本仏教会として人道支援基

金に寄託をするにあたり、寄付者



人道支援委員会の報告を行う  
正本乗光委員長（写真左）

に対して詳細な報告書を提出することが信頼関係の構築に不可欠であると意見を提出した。

#### ・第二回全体会議

各常設委員会の委員長により先に行われた委員会の報告がなされた。人道支援委員会については、正本委員長がカメラリア・ダルマワソ委員とともに報告を行った。

#### 十一月十六日

##### ・シンポジウム

テーマは大会テーマと同じく「仏陀の教えによる社会的和解」。戸松事務総長を含め、各国地域センターから十名が提言を行った。

#### ・WFB創立六十周年記念祝典

スガタダサスタジアムに五千人を集め、創立六十周年記念祝典が開催された。

祝典にはマヒンダ・ラージャパクサ大統領が臨席し、そのプログラムもバレエとスリランカの伝統舞踊をミックスした踊りや、三婦依文の合唱など終始参加者を飽きさせない趣向を凝らしたものであった。

本会からは河野太通会長（WFB最高顧問）が出席、ステージ上で祝辞を述べるとともに、WFB人道支援基金に対し五百万円の寄託を行った。

#### ・閉会式

祝典会場からホテルに戻り、引き続き閉会式が開催された。閉会式では最高顧問である河野太通会長に特別功労賞メダルの贈呈が行われた。

#### 十一月十七日

キャンディ仏歯寺の特別拝観に参加した。

## スリランカ大会ツアー報告

二〇一〇年十一月十五日から二十日まで本会企画のもと、WFB創立六十周年記念祝典・第二十五回世界仏教徒会議スリランカ大会記念ツアーを開催した。

世界仏教徒会議が開催される際には、本会が加盟宗派、都道府県仏教会、関係団体及び賛助会員等を対象にツアーを企画・主催している。世界の仏教徒と接しながら、様々な宗派・団体を超えて縁を結んでもらうことを目的とし、毎回参加者の方から好評を得ている。今回は二十二名のご参加をいただき、六十周年祝典に参加、世界遺産を巡った。以下に日程中の祝典及び主要行事を紹介する。

#### 十一月十六日

##### ・大菩提会に参拝

河野太通会長より記念品を、有田惠宗理事長より御香料をヴァン・バナガラ・ウパティッサ会長に手交した。

・D.M.ジャヤラトナ首相に表敬

河野太通会長、D.M.ジャヤラトナ首相双方より記念品の交換がなされた。

・WFB創立六十周年記念祝典に参加

河野太通会長がスピーチ（戸松義晴事務総長通訳）を行った。祝辞を述べるとともに、WFB人道支援基金に対し五百万円の寄託を行った。

閉会式では河野太通会長にWFB本部より特別功労賞メダルの贈呈が行われた。

#### 十一月十七日

・キャンディ（仏歯寺等）観光

#### 十一月十八日

・シギリヤロック、ポロンナルワ（共に世界遺産）観光

#### 十一月十九日

・ダンブラ石窟寺院参拝

・身延山スリランカ別院参拝

有田惠宗理事長よりヴァン・ダンマ師（身延山スリランカ別院住職）へ記念品・御香料を進呈した。

※詳細は巻末写真、HPをご覧下さい。

訪問

# 仏様に満ち溢れた国スリランカ

曹洞宗貞昌院副住職 亀野 哲也

この度、WFB（世界仏教徒連盟）創立六十周年記念祝典・第二十五回世界仏教徒会議スリランカ大会記念ツアーに参加させていただきました。

私自身、初めてのスリランカ訪問でしたが、ツアーを通じた印象は一言、仏教が生活の中にごく当たり前のようになりと根付いている国だということでした。ホテルのロビーや学校、病院の庭、街道の交差点、バスの運転席、あら



大菩提会にて園児による歓迎の様子

ゆる場所で仏像が鎮座しています。

私たちが乗ったバスを見かけると、街の人びとは一様に足を止め、手を振ってくれました。店番の幼い女の子が歩道に出てきて合掌し、深々と頭を下げる光景には本当に感動いたしました。

行程の中で、大菩提会、身延山スリランカ別院と日本に縁のある二つの寺院を表敬訪問しました。

どちらも幼稚園が併設されています。大菩提会では園児たちによる日本の童謡と踊りを披露いただき、身延山別院では、訪問が園児たちの帰宅している時刻だったにも関わらず、保護者・園児たち総出での大歓迎を受けました。

両寺院は日本からの支援によって運営されているそうで、日の丸が掲げられ、日本文化も教えられています。支援がきちんと生かされているということが実感できました。

受けた恩にきちんと報いること

は仏教の心であり、それが報恩の心です。

戦後まもなく、サンフランシスコ対日講和会議の場で、日本分割統治という意見も出る中、その流れを変えたのがセイロン政府代表として出席していたジャヤワルデネ元大統領の演説でした。

「実にこの世において恨みは恨みによって鎮まらない。恨みを持たないことで鎮まる」という『法句経』の一節を引用し、対日賠償請求を放棄し、日本が再び国際社会に復帰する道筋を作ってくれたのです。

この演説を日本人は知っておかなければなりませんし、決して報恩の心を忘れてはならないでしょう。

WFB創立六十周年記念祝典の場で、日本代表として登壇した河野太通全日本仏教会会長は、スリランカ大統領をはじめ世界各国から集まった仏教者代表、仏教徒の前で、改めてジャヤワルデネ元大統領の演説に感謝し、各国に与えた事実の懺悔と反省の意を表し、



身延山スリランカ別院にて園児より歓迎を受ける参加者

過ちを二度と繰り返すことの無いよう平和を誓うことを宣言され、会場は万雷の拍手で包まれました。とても心に残る記念祝典でした。

スリランカの「スリ」は光り輝くという意味だそうです。仏教が根付き、現代でも風化することなく輝いている国を満喫して、多くの学びを戴いたツアーは円成しました。

末筆ながら、全日本仏教会関係者の皆様、同行の皆様、ガイドのマーティンさん、多くの方々感謝を申し上げます。

## 第四十五回 大阪府佛教徒大会開催

平成二十二年十一月二十九日、標記大会が大阪市中央区のホテル日航大阪に於いて開催された。本大会は大阪府佛教会（増田貞圓会長）と大阪府佛教青年会（村山博雅会長）が主催、大阪府宗教連盟による共催で毎年開催されており、その中で仏教界全体に関わる社会問題をテーマとした討論会が開かれている。

今年の討論会は、「心豊かに生きることのできる世の中を目指して―それでもお葬式は不要ですか―」と題され、司会は増田会長が務めた。

参加されたパネリストは、ジャーナリストの川崎泰資氏、浄土真宗本願寺派圓龍寺住職で関西学院大学教授の大村英昭師、融通念仏宗宝泉寺住職で大阪市仏教会会長の白井忠雄師の三名で、冒頭に増田会長が宗教学者島田裕巳氏の著書『葬式は、要らない』について触れ、その是非について、次のような意見が交わされた。

「葬式不要論を唱える方の多くは死に対しての教養（宗教や仏教

に對しての知識）が欠落している。私たち仏教者がまず行うべきは一般の方へ『死の教養』を説く必要がある。また、最近では殆どの方が病院で亡くなられるが、多くの病院で行っている延命治療を見ると、とてもではないが大往生という言葉が、あてはまらないように感じる。こうした延命治療についても宗教者の立場から提言を行うべきだと考えるが、今の仏教界は無抵抗と言っている程何もしない」等、

仏教者側の問題を述べ合った上で、核家族化が進む現代、葬儀の大切さが親から子へ伝わらない現状について、

「今の親は子に迷惑をかけまいとする傾向があり、自分の介護でさえ他人に押し付ける。育ててくれた恩返しとして、子が親の介護をし、親の生きてきた証しである葬儀を行うのは当たり前のことだ」と、厳しい指摘もあった。

こうした一般の方の葬儀に対する知識や意識が変化しないかぎり葬儀不要論はいつまでたっても消えることはないだろう。仏教界は葬儀の重要性をねばり強く訴えかける取り組みを行うべきだと討論会を締めくくった。

## 東京都仏教連合会主催 「成道会の集い」開催

東京都仏教連合会主催、全日本仏教婦人連盟後援の「成道会の集い」が十二月九日十三時より九段会館大ホールにて開催され、本会より戸松義晴事務総長、垣内善勝財務部長、西野良嘉広報文化部次長が参加した。本年より参加無料となり会場は満席、八百名以上が参加した。

式典では清水谷孝尚東京都仏教連合会会長を導師とし法楽が行われた。東京都仏教連合会傘下の十五地区仏教会の代表者も随喜した。

第一部の講演では菅野日彰日蓮宗本山海長寺貫首が「人みな花あり」と題して講演。

「人にたいして優しいお経」として『法句経』を紹介し、人の心のありようについて解説。全ての人びとの心の中には仏性の花があり、無意識下に「合掌」の心と「ありがとう」の心を持ち、どのような花を咲かせるかが大切、と講演した。

また、当日会場では東京都仏教連合会が国内外の災害救援・人道

支援のために常設している「災害義捐基金」への協力が呼びかけられた。

第二部は清興として歌手の梓みちよ氏が「素敵に生きる女性論」と題して講演。冒頭ヒット曲である「こんにちは赤ちゃん」が歌われ、会場は大いに盛り上がった。

講演終了後懇親会が開催され、戸松事務総長が挨拶を行い、日頃の本会への事業協力への感謝を述べると共に、仏教界が抱える今日的課題を解決していけるよう更なる連携をと述べ、終始和やかな雰囲気の中閉会した。



講演を行う菅野日彰日蓮宗本山海長寺貫首

# 年 新 賀 謹

## 曹洞宗宗務庁

管 長 大道 晃 仙  
 宗務総長 佐々木 孝 一  
 参 議 羽 仁 素 道  
 参 議 岩 田 啓 靖  
 教学部長 河 村 松 雄  
 伝道部長 齋 藤 裕 道  
 人事部長 中 野 重 哉  
 出版部長 石 川 順 之  
 教化部長 釜 田 隆 文  
 総務部長 坂 野 浩 道  
 財政部長 神 野 哲 州

東京都港区芝二丁目一丁目  
 〒105-8544 〇三(三四五四)五四一一  
<http://www.sotozen-net.or.jp/>

## 浄土真宗本願寺派

総 長 橘 正 信  
 総 務 園 城 義 孝  
 総 務 本 多 隆 朗  
 総 務 養 藤 了 文  
 総 務 西 脇 修 見  
 総 務 池 田 行 信  
 本廟局長 阿 部 慶 一  
 宗門長期振興計画  
 推進対策室長 足 利 善 彰  
 総務課長 成 川 和 行  
 総務課長 中 尾 史 峰  
 総務課長 今 小 路 覚 真  
 宗務企画室長 北 浦 思 朗  
 教学伝道研究  
 センター所長 佐 々 木 恵 精  
 本願寺宗務本部  
 センター所長 山 内 教 嶺

京都市下京区堀川通花屋町下ル  
 〒600-8501 〇七五(三七)五一八一  
 FAX 〇七五(三五)一一二二一一

## 真宗大谷派

宗務総長 安 原 晃  
 参 務 竹 田 惠 示  
 参 務 黒 川 紘 紀  
 参 務 林 治  
 参 務 江 尻 静 哉

参 務 推進本部 長  
 参 務 推進本部 長  
 参 務 推進本部 長

京都市下京区烏丸通七条上ル  
 〒600-8505 〇七五(三七)九一八一代表  
<http://www.higashihongangun.or.jp/>

## 浄土宗

浄土門主 伊 藤 唯 眞  
 宗務総長 里 見 法 雄  
 総務局長 安 井 昭 雄  
 教学局長 桂 大 瀛  
 財務局長 吉 水 光 慈  
 社会国際局長  
 社会福祉推  
 進事務局長 里 見 嘉 嗣  
 文化局長 柴 村 堯 海  
 総務局長 井 澤 隆 明  
 人権同和室長 伊 藤 喬 淳  
 宗祖法坐八人  
 大遠忌事務局長 光 成 範 道

職員一同

浄土宗宗務庁  
 京都市東山区林下町四〇〇一八  
 〒605-0062 〇七五(五二)二二〇〇代  
 FAX 〇七五(五二)五一〇〇五  
 東京都港区芝公園四一七一四  
 〒105-0011 〇三(三四三六)三三五一代  
 FAX 〇三(三四三四)〇七四四  
<http://www.jobod.or.jp/>

## 日蓮宗

管 長 内 野 日 絵  
 宗務総長 渡 邊 照 敏  
 伝道局長 関 谷 泰 教  
 総務局長 駒 野 教 源  
 伝道部長 古 河 良 皓  
 教務部長 塩 崎 望 巳  
 総務部長 梶 山 寛 潮  
 財務部長 米 田 宣 雄  
 宗務総長 渡 邊 義 生  
 現代宗教  
 研究所長 三 原 正 資  
 参 与 渡 邊 一 之  
 参 与 吉 田 海 心

日蓮宗新聞社  
 社 長 草 ヶ 谷 秀 人

東京都大田区池上二丁目三三一一五  
 〒146-8544 〇三(三七五)七一八一  
 FAX 〇三(三七五)七一八六  
<http://www.nichiren.or.jp/>



# 年 新 賀 謹

総本山仁和寺  
真言宗御室派  
御室流華道総司庁

門跡管長 南 揚道

執行総長 瀬川 大秀

総務部長 杉本 泰俊

執学部長 藤橋 千秋

財務部長 大西 智城

京都市右京区御室大内三三  
〒616 8092 〇七五(四六一)一一五五  
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇  
<http://www.ninai.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁  
総本山醍醐寺寺務所

座管 主長 仲田 順和

宗務総長 壁 瀬宥雅

総務部長 仲田 順英

執学部長 田中 祐考

財務部長 浦郷 宜右

伝法学院長 田村 照晃

京都市伏見区醍醐東大路町二二  
〒601-1325 〇七五(五七一)〇〇〇二  
FAX 〇七五(五七一)〇一〇一  
<http://www.daigoji.or.jp>  
携帯電話からも御覧頂けます。



融通念佛宗  
総本山大念佛寺

法管 主長 倍巖 良舜

宗務総長 吉村 暲英

法務部長 中江 慈光

庶務部長 岡田 眞澄

會計部長 北川 全宏

大阪市平野区平野上町 一七二二六  
〒547 0045 〇六(六七九)〇〇二二六  
FAX 〇六(六七九)三三〇五〇  
<http://www.dainenbutsuji.com/>

天台眞盛宗宗務所  
総本山西教寺

管 長 西村 阿紹

宗務総長 武田 圓寵

執学部長 三津 堯賢

財務部長 藤上 良英

社会部長 砂原 圓凝

庶務部長 色井 秀宰

滋賀県大津市坂本五一一三一一  
〒520 0113 〇七七(五七八)〇〇二二  
FAX 〇七七(五七八)三四一八

和宗 総本山  
四天王寺

管 長 奥田 聖應

執事長 森田 俊朗

執事 瀧藤 尊淳

執事 南谷 恵敬

執事 塚原 昭應

執事 出口 隆順

執事 吉田 明良

執事 坂本 峰徳

大阪府大阪市天王寺区四天王寺一  
丁目十一番十八号 和宗宗務所  
〒543 0051 〇六(六七七)〇〇六六  
FAX 〇六(六七七)三三三九二二  
<http://www.shitennoji.or.jp>

# 謹 賀 新 年

## 法華宗陣門流

管長代理  
宗務総長 佐古弘文

総務部長 門谷光瑞

教学部長 布施義高

教化部長 佐古大弦

財務部長 金原孝宜

企画部長 今井満良

法華宗宗務院  
東京都豊島区巣鴨五―三五一六  
〒170-0002 ○三(三九一八)七二九〇  
F A X ○三(三九五七)〇一一一

## 大阪府仏教会

会長 増田貞圓  
(真宗大谷派 圓勝寺)

副会長 北村日照  
(日蓮宗 櫛笥寺)

同 森田俊朗  
(和宗 四天王寺)

同 村山廣甫  
(曹洞宗 東光院)

同 森快隆  
(真言宗 葛井寺)

事務局長 井桁雄弘  
(浄土宗 大圓寺)

事務局次長 二上寛弘  
(真言宗 釈迦院)

事務局  
大阪市住吉区墨江三―十七―八  
〒558-0043 大圓寺内  
F A X ○六(六六七)三二五九  
○六(六六七)五〇〇四  
<http://sabutu.net/>

## 財団法人埼玉県佛教会

会長 萩野映明

副会長 木村盛雄

同 倉持秀裕

専務理事 深谷雅良

常務理事 穂山教雄

同 加藤玄静

同 杉村良哉

同 糸原恒久

事務局長 金子嘉広

さいたま市浦和区高砂 四―二―一八  
〒330-0063  
F A X ○四八(八六一)二一三八  
○四八(八六四)六六四九  
<http://sabutu.net/>

## 神奈川県仏教会

会長 本間孝康

副会長 和田大雅

同 竹内成行

同 都築哲信

同 木内雍明

事務局長 吉水智栄

横浜市中区大平町九六 西有寺内  
〒231-0859 ○四五(六六一)〇一六六

## 社団法人 全日本仏教婦人連盟

名誉会長 鷹司誓玉

会長 大谷貴代子

副会長 稲山靈芳

同 大賀美都子

同 末廣久美

理事長 島田喜久子

事務局長 林 惠智子

東京都渋谷区千駄ヶ谷 四―五―一―二〇五  
〒151-0051 ○三(五七七)〇六七七  
F A X ○三(五七七)〇六七七  
<http://jbfwj.jp> E-mail: info@jbfwj.jp

# 年 新 賀 謹

財団法人  
仏教伝道協会

会 長 沼田 智秀

理 事 長 福山 諦法

理 事 中 西 智海

同 木村 清孝

同 桂 紹隆

同 門脇 邦彦

監 事 中野 東禪

同 野村 邦武

〒108-0014  
東京都港区芝四丁目三十一-四  
電 話 〇三(三四五五)五八五一  
F A X 〇三(三七九八)二七五八  
<http://www.bdk.or.jp>

本門佛立宗  
本山宥清寺

講 有 小山 日誠

宗務総長 佐藤 日風

本山宥清寺  
〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入  
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一  
T E L 〇七五(四六三)四六二〇(代)  
F A X 〇七五(四六三)四六五一  
本門佛立宗 宗務本庁  
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る  
東堅町一〇番地  
T E L 〇七五(四六一)一六六(代)  
F A X 〇七五(四六四)五九九九  
URL <http://www.honmon-butsuryushu.or.jp/>

孝道山 本仏殿

第二世統理 岡野 正貫

副統理 岡野 鄰子

第三世統理 岡野 正純

〒221-0064 〇四五(四三三)二二〇一  
横浜市神奈川区鳥越三八

顕本法華宗

管 長 中村 日玄

宗務総長 藤 崎 広学

京都市左京区岩倉幡枝町九十一  
〒606-0015 〇七五(七九二)七二七一  
F A X 〇七五(七九二)七二六七

真言律宗

長 老 大矢 實圓

執事 長 佐伯 快勝

奈良市西大寺芝町二丁目一の五  
〒631-0825 西大寺内 真言律宗宗務所  
F A X 〇七四(二四五)四七〇〇  
〇七四(二四五)四七二〇

真言三宝宗  
大本山清澄寺

法管 主 長 坂本 光謙

宗務 長 岡田 康秀

執行 長 有井 良隨

鉄斎美術館  
館 長 森 藤 光宣

宝塚市米谷字清シ一番地  
〒665-0837 〇七九七(八六)六六四一  
F A X 〇七九七(八六)六六六〇  
<http://www.kiyoshikojin.or.jp>

信貴山真言宗  
総本山朝護孫子寺

管 長 田中 真瑞

長 老 鈴木 風永

宗務 長 鈴木 貴晶

寺務 長 野澤 密孝

奈良県生駒郡平群町信貴山  
〒636-0923 〇七四五(七二)二二七七

真言宗須磨寺派  
大本山須磨寺

貫 主 小池 弘三

寺務 長 吉井 惠貫

神戸市須磨区須磨寺町四一六一八  
〒654-0071 〇七八(七三二)〇四一六

金峯山修験本宗  
総本山金峯山寺

管 長 五條 覺堯

宗務 総長 田中 利典

奈良県吉野郡吉野町吉野山二四九八  
〒639-3115 〇七四六(三三)八三七一  
F A X 〇七四六(三三)四五六三  
<http://www.kimpusen.or.jp>

# 年 新 賀 謹

妙見宗務本庁  
総本山本瀧寺

管 長 野間 秀昭

宗務総長 谷口 真祐

妙見宗務本庁  
大阪府豊能郡能勢町野間中七一八  
〒563-0132 〇七二七三七)〇〇二八  
FAX 〇七二七三七)一八五八  
<http://www.hontakji.com/>

東京都仏教連合会

会 長 清水谷 孝尚

理事長 山田 一眞

事務局長 新倉 典生

東京都足立区梅田一―二十六―十  
善立寺内  
〒123-0851 〇三(三八八六)一三六七  
FAX 〇三(三八八六)八二五二

福島県仏教会

会 長 三村 真城

専務理事 加賀 正孝

福島県郡山市西田町木村字  
寺ノ前一一九  
〒963-0914 〇二四(九七二)二九一一  
FAX 〇二四(九七二)二四三三

愛知県仏教会

会 長 吉田 教行

副会長 田畑 修身

同 伊藤 正導

同 岩木 涼山

名古屋市昭和区高峯町四八  
普蔵寺内  
〒466-0811 〇五二(八三二)九七二〇

愛媛県仏教会

会 長 御木 徳久

副会長 二宮 泰慶

同 内藤 拓洲

事務局長 怒和 智幸

松山市安城寺町一―二七二  
安祥寺内 愛媛県仏教会事務局  
〒791-8006 〇八九(九九九)〇〇六九

財団法人  
国際仏教興隆協会

名誉会長 塩川 正十郎

印度山 半田 孝淳

理事長 安田 暎胤

事務総長 正本 乗光

役員 一同

東京都目黒区中目黒五―二四―五三  
〒153-0061 〇三(三七一一)七六〇八  
FAX 〇三(三七一一)七六七三  
<http://homepage2.nifty.com/nip-ponji/>  
E-mail:hbba@nifty.com

聖観音宗 浅草寺

貫 首 清水谷 孝尚

東京都台東区浅草二―三一―一  
〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一  
FAX 〇三(三八四五)六九三三

総本山 根来寺

新義真言宗宗務所

和歌山県岩出市根来二―二八六  
総本山 根来寺内  
〒649-6202 〇七三六(六二)一―一四四  
FAX 〇七三六(六二)一〇四四

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

宝塚市中山寺二丁目十一―一  
〒665-8588 〇七九七(八七)〇〇二四  
FAX 〇七九七(八七)九八七七  
<http://www.nakayamadera.or.jp>

時宗宗務所

宗務長 高木 貞歡

神奈川県藤沢市西富一―八一―一  
遊行寺内  
〒251-0001 〇四六六(二三)七二七六

臨濟宗円覚寺派

大本山 円覚寺

鎌倉市山ノ内四〇九  
〒247-8503 〇四六七(二二)〇四七八  
<http://www.engakuji.or.jp/>

# 年 新 賀 謹

<p><b>臨濟宗南禪寺派</b></p> <p>宗務総長 後藤憲雄</p> <p>京都市左京区南禪寺福地町八六 〒606-8435 〇七五(七七二)〇三六五 FAX 〇七五(七七二)六九八九 <a href="http://www.nanzennet">http://www.nanzennet</a> E-mail:info@nanzennet</p>	<p><b>法相宗</b></p> <p>貫首 多川俊映</p> <p>奈良市登大路町四十八 興福寺内 〒630-8213 〇七四(二二二)七七五五</p>	<p><b>真言宗大覚寺派宗務庁</b></p> <p>大本山 大覚寺</p> <p>管門 長跡 下泉 恵尚</p> <p>京都市右京区嵯峨大沢町四 〒616-8411 〇七五(八七一)〇〇七一 FAX 〇七五(八七一)〇〇五五</p>
<p><b>宗教法人 念法眞教</b></p> <p>総本山 金剛寺</p> <p>大阪市鶴見区緑三十四―二二― 〒538-0054 〇六(六九一)二二〇一 <a href="http://www.nenpoushinkyou.jp/">http://www.nenpoushinkyou.jp/</a></p>	<p><b>東寺真言宗</b></p> <p>宗務総長 橋本尚信</p> <p>京都市南区九条町一 〒601-8473 〇七五(六七二)三七一七 FAX 〇七五(六六一)六八五六</p>	<p><b>西山浄土宗</b></p> <p>総本山 光明寺</p> <p>法管 長 岩田文有 内局 一同</p> <p>京都府長岡京市粟生西条ノ内二六―一 〒617-0811 〇七五(九五五)〇〇〇二 <a href="http://www.konyo-ji.or.jp">http://www.konyo-ji.or.jp</a></p>
<p><b>北海道仏教会連盟</b></p> <p>会長 寺井紹道</p> <p>札幌市中央区北三条西十九丁目二―一 浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内 〒060-0003 〇一一(六一二)九六二三</p>	<p><b>岐阜県仏教会</b></p> <p>会長 長橋正信</p> <p>岐阜市西野町三―一 岐阜西別院在会所西側入口 〒500-8882 〇五八(二六六)七八〇三 FAX 〇五八(二六六)七八〇三 <a href="http://bukkyogifu.net/">http://bukkyogifu.net/</a></p>	<p><b>岡山県佛教会</b></p> <p>会長 漆間宣隆</p> <p>岡山県久米郡久米南町里方八〇八 浄土院内 〒709-3602 〇八六七(二八二)三六四</p>
<p><b>茨城県仏教会</b></p> <p>会長 寺門俊文</p> <p>茨城県笠間市押辺二五二五―四 〒319-0205 〇二九九(三七)八八九〇</p>	<p><b>滋賀県仏教会</b></p> <p>会長 長西村岡紹</p> <p>滋賀県大津市坂本五―二―一 滋賀西別院在会所西側入口 〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三 FAX 〇七七(五七八)三四一八</p>	<p><b>山梨県仏教会</b></p> <p>山梨県塩山市下萩原二〇九二 東林寺内 〒404-0024 〇五五三(三三三)三四八三 FAX 〇五五三(三三三)三四八三</p>
<p><b>全日本仏教青年会</b></p> <p>理事長 宮寺守正</p> <p>埼玉県富士見市勝瀬四七〇―二 大願寺内 〒354-0031 〇四九(二五五)九〇〇九 FAX 〇四九(二五四)〇八二二</p>	<p><b>社団法人 日本仏教保育協会</b></p> <p>東京都港区芝公園四―七―四 明照会館二階 〒105-0011 〇三(三四三)七四七五 FAX 〇三(三四三)一五一九 <a href="http://www.bupoco.com">http://www.bupoco.com</a></p>	<p><b>日本佛教鑽仰会</b></p> <p>理事長 中山静麿</p> <p>東京都板橋区舟渡四―十五―一 〒174-0041 〇三(三九六)七三二八八</p>

# 謹賀新年

天台寺門宗  
真言宗善通寺派  
真言宗山階派  
真言宗泉涌寺派  
真言宗国分寺派  
浄土宗西山禅林寺派  
浄土宗西山深草派  
真宗高田派  
真宗佛光寺派  
真宗興正派  
真宗本願寺派  
臨濟宗建長寺派  
臨濟宗相国寺派  
臨濟宗東福寺派  
黄檗宗  
法華宗本門流  
法華宗真門流  
本門法華宗  
聖徳宗  
華嚴宗  
律宗  
青森県仏教会  
岩手県仏教会  
福島県仏教会  
栃木県仏教会  
群馬県仏教会  
千葉県仏教会  
新潟県仏教会  
石川県仏教会  
福井県仏教会  
長野県仏教会  
静岡県仏教会  
京都府仏教会  
京都府仏教連合会  
兵庫県仏教会  
和歌山県仏教会  
鳥取県仏教連合会  
島根県仏教会  
(社)徳島県仏教会  
香川県仏教会  
高知県仏教会  
福岡県仏教連合会  
長崎県仏教連合会  
宮崎県仏教連合会  
沖縄県仏教会  
東京ブライストクラブ  
仏教情報センター

## 賛助会員

### 【特別会員】

大本山東福寺 永井 慶洲  
蓮華院誕生寺 川原 英照  
大本山南禅寺 中村 文峰  
尾道仏教会 松岡 昭禮  
實相山中中央寺 南澤 道人  
信州 善光寺 若麻 績信昭

### 【団体会員】

京セラ株式会社  
東映株式会社  
大和証券株式会社 法人サポート部  
野村證券株式会社 法人企画部  
株式会社JTB 法人東京第一事業部  
トップツアー株式会社  
近畿日本ツーリスト株式会社  
東日観光株式会社  
株式会社 ビーエス観光  
財団法人ライフプランニングセンター  
日本テンプルヴァン株式会社  
株式会社 三州社  
株式会社 信天堂  
株式会社 図書印刷同朋舎  
ティケイヘンデルアート  
株式会社 京念珠刑部  
株式会社 オードリー  
有限会社 ルンビニ  
株式会社 オメガコム  
株式会社 京扇堂  
株式会社 公益社  
株式会社 ダイセイ  
新日本法規出版株式会社  
学校法人 真宗大谷学園  
日韓仏教交流協議会  
全日本宗教用具協同組合  
全日本葬祭業協同組合連合会  
岩手県葬祭業協同組合

### 【個人会員】

東京都葬祭業協同組合  
神奈川県葬祭業協同組合  
岐阜県葬祭業協同組合  
名古屋葬祭業協同組合  
愛知県葬祭業協同組合  
京都中央葬祭業協同組合  
大阪葬祭業協同組合  
大阪市規格葬儀指定店事業協同組合  
徳島県中央葬祭業協同組合  
福岡県葬祭業協同組合  
長崎県葬祭業協同組合  
社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会  
稲盛 和夫(京セラ株式会社名誉会長)  
社本 公一(公認会計士)  
池田 行信(浄土真宗本願寺派総務)  
石上 智康(浄土真宗本願寺派議員)  
塩月 光夫(浄土真宗本願寺派議員)  
高橋 篤法(浄土真宗本願寺派議員)  
武田 昭英(浄土真宗本願寺派議員)  
中田 清吉(浄土真宗本願寺派議員)  
村上 智真(浄土真宗本願寺派議員)  
村橋 吉重(浄土真宗本願寺派議員)  
天性寺 毛利 俊行(山形県)  
福聚院 伊達 廣三(宮城県)  
西福寺 志鳥 融光(茨城県)  
東栄寺 大森 忠篤(埼玉県)  
法瑠寺 矢島 浄純(埼玉県)  
獅子吼会 大塚 日正(東京都)  
本照寺 境野 哲秀(東京都)  
慈眼寺 櫻井 英幸(東京都)  
浄心寺 佐藤 雅彦(東京都)  
玉林禅寺 長谷 琢堂(東京都)  
信松院 西村 輝成(東京都)  
大蔵寺 佐藤 直道(神奈川県)  
金蔵院 眞田 有快(神奈川県)  
龍泉寺 壽山 良光(神奈川県)

圓滿寺	西郊	良光(神奈川県)	岩屋	毅	(自由民主党)	衆議院議員
正泉寺	野澤	隆幸(神奈川県)	金子	恭之	(自由民主党)	衆議院議員
本光寺	木村	光正(静岡県)	河村	建夫	(自由民主党)	衆議院議員
秋月院	近藤	真道(愛知県)	高村	正彦	(自由民主党)	衆議院議員
光泉寺	松山	公顯(愛知県)	下村	博文	(自由民主党)	衆議院議員
寂光院	松平	實胤(愛知県)	高市	早苗	(自由民主党)	衆議院議員
太福寺	佐久間	大道(兵庫県)	中川	秀直	(自由民主党)	衆議院議員
精明寺	正田	哲壽(鳥取県)	長勢	甚遠	(自由民主党)	衆議院議員
川嶋	英彦	(千葉県)	野田	毅	(自由民主党)	衆議院議員
櫻田	佳正	(京都府)	平沢	勝栄	(自由民主党)	衆議院議員
安田	容造	(京都府)	保利	耕輔	(自由民主党)	衆議院議員
和心庵	井上	美和子(佐賀県)	赤石	清美	(自由民主党)	衆議院議員
赤松	広隆	(民主党)	岩城	光英	(自由民主党)	衆議院議員
枝野	幸男	(民主党)	片山	さつき	(自由民主党)	衆議院議員
大串	博志	(民主党)	小坂	憲次	(自由民主党)	衆議院議員
大西	孝典	(民主党)	鈴木	政二	(自由民主党)	衆議院議員
楠田	大蔵	(民主党)	谷川	秀善	(自由民主党)	衆議院議員
小宮	洋子	(民主党)	中川	雅治	(自由民主党)	衆議院議員
仙谷	由人	(民主党)	二之湯	智	(自由民主党)	衆議院議員
高木	義明	(民主党)	自見	庄三郎	(国民新党)	衆議院議員
田島	一成	(民主党)	浅尾	慶一郎	(みんなの党)	衆議院議員
原口	一博	(民主党)	金田	誠一	(前衆議院議員)	
平岡	秀夫	(民主党)	上川	陽子	(前衆議院議員)	
前原	誠司	(民主党)	久間	章生	(前衆議院議員)	
松本	謙公	(民主党)	関	芳弘	(前衆議院議員)	
松本	剛明	(民主党)	西川	京子	(前衆議院議員)	
三日	月大造	(民主党)	萩山	教嚴	(前衆議院議員)	
横光	克彦	(民主党)	平田	耕一	(前衆議院議員)	
和田	隆志	(民主党)	岩永	浩美	(前衆議院議員)	
大塚	耕平	(民主党)	木村	仁	(前衆議院議員)	
佐藤	公治	(民主党)	佐藤	泰介	(前衆議院議員)	
鈴木	寛	(民主党)	田名	部匡省	(前衆議院議員)	
白	眞勲	(民主党)	峰崎	直樹	(前衆議院議員)	
林	久美子	(民主党)				
福山	哲郎	(民主党)				
藤谷	光信	(民主党)				
前田	武志	(民主党)				

謹

賀

新

年

会長

河野 大通

副会長

大矢 實圓

菅原 栄光

正田 哲寿

理事長

有田 惠宗

常務理事

佐々木孝一

橋本 正信

竹田 惠示

小林 正道

渡邊 照敏

松井 宗益

阿部 純孝

岡部 快圓

川田 聖成

理事

森田 俊朗

岡野 正純

桶屋 良祐

瀬川 大秀

長谷部 達徳

萩野 映明

山田 一眞

本間 孝康

寺町 研山

吉田 教行

増田 貞圓

顧問弁護士

長谷川正浩

評議員

河村 松雄

池田 行信

田代 賢治

里見 嘉嗣

駒野 教源

四之宮弘孝

松山 英照

杜多 道雄

上杉 照延

粕谷 利通

武田 圓龍

田中 利典

守山 雄順

黒髪 寛延

石堂 恵眼

東條 仁哲

久我 儼昭

杉浦 秀祐

伊藤 隆泰

大谷 義博

高木 貞歡

今杉 康道

高井 正俊

亀山 琢道

浅井 聖道

藤崎 広学

川手 誠誓

佐伯 快勝

家森 宏善

漆間 宣隆

萩岡 裕明

玉久 圭澄

御木 徳久

末廣 久美

高山 久照

逸見 道郎

井上 日宏

安孫子 虔悦

座間 光寛

谷口 真祐

菅 智潤

壁瀬 宥雅

糟谷 眞教

吉井 恵貫

岡田 康秀

高倉 隆乘

吉川 恵教

矢分 宗順

佐吹 慈英

古谷 弘文

寺井 紹道

藤原 栄善

一月 正人

山口 和省

善國 乘憲

山崎 孝裕

尾井 貴童

小林 潤一

吉水 光慈

芙蓉 良英

五十嵐 賢二

大谷 義博

矢吹 慈英

木村 盛雄

高山 久照

林 恵智子

金田 義幸

古澤 勝浩

逸見 道郎

長谷川正浩

木村 匡成

伊藤 謙允

三原 淨信

伊藤 和人

三原 喬淳

深 正資

神代 真樹

村上 紹文

小宮 圓竜

小島 一雄

南谷 恵真

本多 静芳

守屋 友江

飯島 信善

深澤 信善

馬島 浄圭

和賀 紳城

桐林 三巳

禿 信敬

里見 嘉嗣

岡野 忠正

粕谷 利通

正本 乗光

坂本 観泰

岡野 正純

川橋 範子

小林 正道

塩入 法道

壽山 良光

竹内 祥起

ケネス田中

成田 孝英

渡辺 章悟

伊藤 謙允

三原 淨信

伊藤 和人

三原 喬淳

深 正資

神代 真樹

村上 紹文

小宮 圓竜

小島 一雄

南谷 恵真

本多 静芳

守屋 友江

飯島 信善

深澤 信善

馬島 浄圭

和賀 紳城

桐林 三巳

禿 信敬

並木 優記

福井 邦彦

杉本 栄次

上田 則夫

山本 昭弘

虎山 義秀

関岡 俊二

新倉 典生

井澤 孝一

宮寺 守正

戸松 義晴

奈良 慈徹

東田 樹治

小宮 加奈

垣内 善勝

小山 智恵

社会人権部

加久保 範祐

三浦 一実

田代 弘尚

西野 良嘉

中村 甲

国際部

入西 智彦

藤田 宗玄

酒井 仁成

関西支局長

松山 英照

支局員一同

富川 堯海

柴村 亨栄

事務総局

事務総長

戸松 義晴

奈良 慈徹

東田 樹治

小宮 加奈

垣内 善勝

小山 智恵

社会人権部

加久保 範祐

三浦 一実

田代 弘尚

西野 良嘉

中村 甲

国際部

入西 智彦

藤田 宗玄

酒井 仁成

関西支局長

松山 英照

支局員一同

富川 堯海

柴村 亨栄

廣報委員会

松尾 徹裕

宮川 善裕

篠原 亨栄

柴村 堯海

富川 堯海

岡部 兼海

渡邊 宗徹

宗教育推進委員会

伊藤 謙允

三原 淨信

伊藤 和人

三原 喬淳

深 正資

神代 真樹

村上 紹文

小宮 圓竜

小島 一雄

南谷 恵真

本多 静芳

守屋 友江

飯島 信善

深澤 信善

馬島 浄圭

和賀 紳城

桐林 三巳

禿 信敬

里見 嘉嗣

嘉嗣 信敬

里見 嘉嗣

及川 玄一

村上 保壽

渡邊 宗徹

一島 正真

松山 英照

道雄 英照

道雄 英照

道雄 英照

道雄 英照

インパクト・インベストメント ～投資を通じた社会貢献～ 大和証券の取り組み

◆インパクト・インベストメント

貧困、飢餓、環境破壊……。地球上にはさまざまな問題があふれています。

世界の国々が抱える社会的な問題を投資によって解決するのが、インパクト・インベストメントと呼ばれる新しい投資のスタイル。貧困や医療、地球温暖化などの問題の解決を目指しながら経済的な利益も追求することができます。欧米で動き出したこのトレンドは、今、日本でも徐々に広がりを見せ始めてきています。

◆社会的課題の解決に向けて-大和証券の取り組み-

大和証券では、調達資金をマイクロファイナンス（貧困層向け金融サービス）に活用する『マイクロファイナンス・ボンド』など、社会貢献につながるインパクト・インベストメント商品を継続して取扱ってきました。

これからも、資金を必要としている人と資金をもつ人とをつなぐ架け橋となり、投資家の皆さまとともに世界が抱える課題解決のお手伝いをしてまいります。

冊子 無料進呈

未来を創る投資  
インパクト・インベストメント  
～投資を通じた社会貢献～

ご希望の方はFAXもしくは  
ハガキにてお申込みください。

※2010 Autumn版をお届けいたします。

請求先：大和証券(株)  
法人サポート部 公益法人担当係  
宛 先：〒100-6752 東京都千代田区丸の内1-9-1  
グラントウキョウノースター  
FAX：03-5555-0701  
ご記入事項：貴法人名、所在地、お電話番号、  
ご芳名、所属・ご役職

※数に限りがございますので、品切れの際はご容赦ください。  
※ご記入いただいた情報は、当社または関連会社、提携会社の商品・サービス等のお客さまへのご案内、および商品開発やサービス向上のために利用させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。



大和証券

Daiwa Securities

※インパクト・インベストメントの詳細は、大和証券ホームページ内の特集ページでご覧いただけます。

※全日本仏教会ホームページの賛助会員一覧

「団体会員 大和証券(株)法人サポート部」からもご覧いただけます。

www.daiwa.jp/impact

大和証券ホームページ www.daiwa.jp

事務総局録事

十一月(十一日～三十日)

- 十一月 京都仏教会花まつり協力依頼
- 十二日 無料法律相談室  
第二十五回WFBスリランカ大会参加(至十八日)  
京都府仏教連合会花まつり協力依頼
- 十五日 浄土真宗本願寺派取材  
プリンスホテル秋山氏来局  
第二十五回WFBスリランカ大会記念ツアー(至二十日)
- 十六日 リーガロイヤルホテル畑田氏来局  
厚生労働省人道支援室松本氏・遠藤氏来局  
平成二十二年度分年末調整説明会出席(メルパルクホール)
- 十七日 衆議院議員大西孝典氏を励ます会参加(永田町海運クラブ)
- 十八日 朝日ビジネスソリユーション木村氏来局  
参議院議員藤谷光信氏と面談(参議院議員会館)
- 十九日 加盟団体顧問弁護士連絡会・人権問題連絡協議会下見(泉涌寺・メルパルク京都)  
国際仏教興隆協会理事・監事会出席(梅窓院)
- 自由民主法曹団第三回勉強会出席(自民党本部)

- 二十二日 朝日ビジネスソリユーション木村氏・竹内氏来局
- 二十三日 念法真教長谷川霊信長老本葬儀参列(金剛寺)
- 二十四日 朝日ビジネスソリユーション木村氏来局
- 二十五日 文化庁・長野県共催宗教法人実務研修会出席(長野市サンパルテ山王)
- 第二十五回「狭山」現地調査学習会出席(至二十五日)

- 二十五日 朝日ビジネスソリユーション木村氏・竹内氏来局  
宗教法人審議会(文化庁)局内会議  
無料法律相談室  
二十六日 インド洋津波慰霊打合せ(日蓮宗宗務院)
- 朝日ビジネスソリユーション木村氏・竹内氏来局  
仏教主義学校連盟弁論大会出席(立正中・高校石橋湛山記念講堂)
- 大和証券(株)佐藤氏来局  
念法真教桶屋教務総長来局
- 二十九日 朝日ビジネスソリユーション木村氏来局  
二〇一〇年度部落解放・人権政策確立要求 第一次中央集會出席(永田町星陵会館ホール)
- 立正大学渡邊寶陽先生来局
- 東映(株)村松氏・岡部氏来局
- 第四十五回大阪府佛教徒大会参加(ホテル日航大阪)

十二月(一日～十日)

- 一日 第四回理事会 第三回評議員会・参与会(リーガロイヤルホテル京都)
- 二日 曹洞宗工藤英勝師来局
- 三日 芝学園佐藤元紀先生来局
- 四日 医療と宗教を考える会パネリスト参加(京都・相国寺)
- 五日 韓国曹溪宗ヨンダム総務部長来局
- 七日 全青協主催「第四十三回現代名僧墨蹟展」訪問(銀座ギャラリーノア)
- 世界人権宣言六十二年記念東京集會参加(日本教育会館一ツ橋ホール)
- 日本宗教連盟幹事会・理事会出席
- 全日本葬祭業協同組合連合会・(社)全日本冠婚葬祭互助協会花まつり協力依頼
- 第十八回BNN研修セミナー参加(勝楽寺)
- 真宗大谷派東京宗務出張所所長田代賢治師・次長大谷俊浩師来局
- 九日 東京都仏教連合会成道会出席(九段会館)
- 十日 野村証券(株)来局  
朝日ビジネスソリユーション木村氏来局  
日本経済新聞社文化部河野氏来局
- 東映(株)岡部氏来局

表紙写真紹介

「南アルプス

薬師岳からのご来光」

山梨県の南アルプスには、薬師岳、観音岳、地藏ヶ岳という仏さまの名前がついた「鳳凰三山」と呼ばれる三つの山があります。以前講演をさせていただいたご縁で、昨年南アルプス市にある小さな中学校の生徒たちと一緒に鳳凰三山に登ることになりました。

標高二八〇〇メートルまでたくさん歩いた一日を終え、一晩寝た次の日。早朝四時、目を覚ましてすぐにみんなで薬師岳山頂に向かいました。ご来光を拝むためです。一面に広がる雲海、紫色からオレンジ色に少しずつ染まっていく空。少し顔を見せた太陽がぱあつと空を照らした瞬間、あまりの美しさに「はあ」とみんなからため息が漏れました。

いっぱい歩いたからこそ出会える景色。自然の大きさに触れた子どもたちは、きっとやさしく育つていくんだろうと思います。ああ、こうしてお薬師さまは私たちを照らしてくれているんだ。美しい朝の光に包まれながら、自然にそう思えました。

仏像ガール®

訂正  
前号(五六五号)二頁、二段目十九行目に誤りがありました。  
誤↓像侶のみならず  
正↓僧侶のみならず  
関係各位に心よりお詫び申し上げます。

# WFB 創立60周年記念祝典 第25回世界仏教徒会議スリランカ大会・記念ツアー



シンポジウムにて大会テーマ「仏陀の教えによる社会的和解」について提言する戸松義晴事務総長



(中央) 60周年記念祝典で祝辞を述べる河野太通会長  
(右下) 通訳する戸松義晴事務総長



閉会式にてパロップ事務総長より特別功労賞メダルの証書を受け取る河野太通会長



身延山スリランカ別院にて園児より首飾りをプレゼントされる有田恵宗理事長



大菩提会本堂にて集合写真



世界遺産シギリヤロック

※P6～P7で報告した内容の一部を掲載しております。※HPにて詳細を掲載しております。是非ご覧下さい。